

(様式 1-3)

福島県 (大熊町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	個人線量管理業務委託事業	事業番号	(3)-23-2
交付団体	大熊町		事業実施主体 (直接/間接)	大熊町 (直接)	
総交付対象事業費	(19,311 千円) 23,093 (千円)		全体事業費	(19,311 千円) 23,093 (千円)	
再生加速化に関する目標					
大川原・中屋敷地区は本格除染も終了し、日中は自由に立入ができる場所になっているが、放射線に対する不安はまだ大きい。立入時に使用する個人用放射線測定器を用意したが、1年に1回の校正が必要になる。そのため、測定器の管理業務を委託することで、測定器の回収等を素早く行い線量計のない期間を最小限におさえて、精度の保たれた測定器を使用できる状態にする。					
事業概要					
現在配布している個人用放射線測定器の回収及び線量の評価、測定器の校正及び発送をワンストップで行う。					
当面の事業概要					
<平成29年度> 現在配布している個人用放射線測定器の回収 線量の評価、測定器の校正 線量の評価結果と測定器の送付					
地域の再生加速化との関係					
町民にとって簡単で使いやすい個人測定器を用意することで、一時帰宅時に使用してもらいやすくし、個人の被ばく量を認識できるようにすることは重要である。帰還を推進するにあたって、自分の被ばく量を知ること、住民の帰還が進むと考えます。					
関連する事業の概要					
住民に測定器の無い期間をさらに減らすために、測定器を追加購入して被ばく管理の強化につなげる。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	